和～繋がりを大切に～

松戸四中　第３学年だより

令和５年１２月１日　第８号

2023年を振り返って。。。

学級代表委員の皆さんに１年間の振り返りを書いてもらいました。（一部抜粋）

３年１組　K・T　くん

　様々な行事で大きな役割を担うことが多くなった１年だった。最初はすべてやり遂げられるか不安だったが、「中学校生活最後の行事を全力でやろう」という気持ちをみんなで共有し、最高の思い出を作ることができた。また、今年は進路について考え、自分自身と向き合う１年でもあった。まだうまく自分の将来について掴めてはいないが、これから様々な壁を越えていかなければいけないと思う。自分が思い描く未来を掴むために、来年はこれまで以上に努力していく。

３年１組　Y・K　さん

　たくさん怒られ、同時にたくさん成長できた１年だった。良いことばかりではなかったけれども、様々な行事を通して、クラスの団結や、人とのつながりの大切さを学ぶことができ、クラスのみんなについてたくさん知ることができたと思う。卒業まで残り４か月、受験に向かって頑張ろう！

３年２組　I・T　くん

　自分の心と闘った１年だった。６、７月は部活動の最後の追い込みがあり、苦しくて正直休みたいと思ったこともあった。しかし、「ここで自分に負けたら試合にも勝てない。だからもうひと踏ん張り！」という気持ちで自分の弱い心に打ち勝ち、総体で結果を残すことができた。だから受験勉強でも同じように、「もう休みたい」と思ったところでだらけずに、もう一つ気合いを入れて取り組み、志望校合格を勝ち取りに行く。

３年２組　N・M　さん

　あっという間の１年だった。新しいクラスでは仲の良い友達だけでなく、話したこともない人も多くいたため、正直どうなるのかと不安だった。しかし、修学旅行や体育祭、合唱コンクールといった行事や、何より日々の学校生活を通して、不安だった気持ちは全く無くなり、楽しい気持ちが増していく一方だった。与えられた場所や環境が不安でも、自分次第で楽しい場所に変えられることがよく分かったし、心身ともに大きく成長できた１年だったと思う。来年も、卒業までの残り少ない日々を悔いなく過ごし、中学校生活を最高の思い出にしたい。

３年３組　Y・K　くん

　たくさんの人と出会うことができ、本当に良かったと感じる１年だった。クラス替え直後は初めて話す人も多く、とても緊張していた。しかし、修学旅行や体育祭、合唱コンクールなどの行事を通し、クラスの仲が深まった。また、受験生という立場になり、勉強を頑張っている人が増えてきた１年でもあった。卒業までの残り４か月間、勉強を頑張るのと同時に残り少ないクラスの時間も大切にし、悔いの残らないようにしたい。

３年３組　H・C　さん

　「最上級生」という役割に追われた１年だった。部活動では、３年生として部をまとめるのはもちろん、自分の実力が足りていないと教えることすらできないため、ひたすら練習を繰り返した。また、部活動以外にも、「受験」という戦いへ向けての勉強を頑張る必要もあり、とにかく大変だった。だけど、それ以上に、多くのことを得ることができたとも思う。「最上級生」であることに誇りをもって物事に取り組み、良い思い出を作ることができた。

３年４組　Y・Y　くん

　自分自身も、学年全体も、確実に成長することができた１年だった。自分は前期は学級代表委員ではなかったが、修学旅行や体育祭、松香祭、合唱コンクールといった行事を、４組の一員としてみんなと一緒に楽しんで取り組むことができた。あと１００日ほどで中学校を卒業し、それぞれの進路に向かうことになるけれど、僕たちが３年間で得たものは必ず良い思い出として残ると思う。残りの日々を悔いの残らないよう、精一杯頑張る。

３年４組　N・M　さん

　４組のみんなと何事にも全力で取り組んだ１年だった。中学校最後の学校生活をこの明るいクラスで過ごすことができ、とても楽しかった。仲間と協力し、何気ないことで笑いあった日々を通して、改めて仲間の大切さを感じることができた。支えてくれる多くの人たちに感謝しながら、残りの学校生活を全力で過ごし、笑顔で卒業できるようにする。

３年５組　Y・K　くん

　当たり前のことに感謝をする１年だった。僕は去年、怪我が原因で１年の半分以上を運動ができずに過ごしていた。そのときの悔しさは今でも忘れないし、何よりまわりに迷惑をかけてしまうことも多かった。だから今年は、運動ができたり、みんなで一緒に盛り上がったりする「当たり前の生活」に人一倍感謝し、それを楽しむことができた。これからも、当たり前の生活に感謝すると同時に、まわりへの感謝をたくさん伝えていく。みんなと過ごすことが何より楽しいと感じるような１年間だった。

３年５組　I・N　さん

　深く充実した１年だった。この１年間は、学年のみんなが自身の目標や進路に向けて、心身ともにたくさん悩み、葛藤しながら進んできたと思う。また、今年はコロナの規制が緩和され、ゆっくりといつもの生活に戻ることもできた。しかし、そんな日常もそろそろ終わりを迎えてしまう。いま隣に座っている人も、廊下ですれ違う人も、４か月後にはほとんどが会うことが無くなってしまう。いつもの日常に感謝しつつ、残りの四中での学校生活を楽しみたい。たくさんの人にその感謝を伝えることが、私の今年最後の目標だ。

３年６組　S・R　くん

　「受験生なんだから…」という言葉をとにかく聞く１年だった。「受験生なんだからしっかりするように」「受験生なんだから遊ばずに勉強しなさい」など…、これらの言葉に正直プレッシャーを感じたし、言わないでほしいと思ったこともあった。しかし、プレッシャーや焦りを感じながらも今まで頑張ってこられたのは、きっと仲間たちのおかげだ。そんな仲間たちと過ごせる最後の４か月間を、全力で楽しもう。

３年６組　T・M　さん

　笑顔のあふれる１年だった。今年は、自分の将来について真剣に向き合う中で、テストの点数が上がらなかったり、つらい思いをすることも多かった。そんなときに学校に行き、友達に会って笑い合う、行事に全力で取り組んで盛り上がる…、そういう日々が、私にとっての支えだった。大きな壁に当たって不安になったとき、仲間と支え合って一緒に乗り越えていく、そんな学年であり続けたいと思う。来年も、残りの学校生活を楽しみながら、「感謝・感動・常に全力」で、頑張っていきましょう！

体調管理に十分注意しましょう！

　１２月に入り、急激に朝晩の冷え込みが強まってきました。この時期になると、防寒不足や入試への焦りが重なり、体調を崩すことが増えてきます。改めて体調管理に十分注意しましょう。効果的な対策としては、

・規則正しい生活を送る（特に睡眠時間を確保すること）　・朝型の学習に切り替える　・手洗い、うがい、消毒をこまめに行う

などが挙げられます。また、インフルエンザの予防接種が済んでいない場合、１２月上旬のうちにぜひ接種を行いましょう。効果が現れるのは接種の２～３週間後になります（詳細は進路だより No.43）。

　体調管理を心がけ、勉強に集中できる環境をつくりましょう。